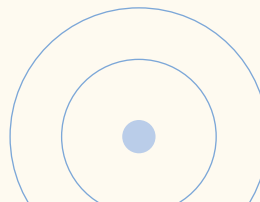
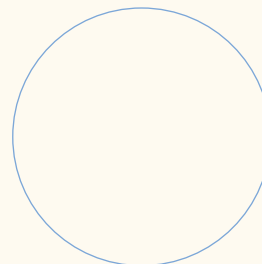
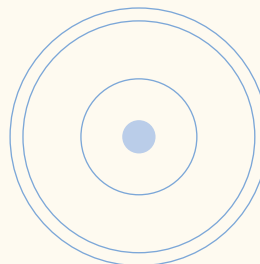


第8期 中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日



未来成長への基盤づくりのために さまざまな施策を着実に推進しています。

——代表取締役社長 飯田桂子

将来の成長に必要な基盤づくりへ

株主の皆様には、
平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

まず、上半期の業績についてご報告したいと思います。
当中間期における売上高は、2,598,577千円（前年同期比2.6%減）、経常利益については、552,445千円（前年同期比5.1%減）となりました。これは「収益源の多様化」に向けたさまざまな施策に伴う費用負担が要因であり、これらの先行投資は、当社が将来的に成長を続けていくために不可欠なものであると認識しております。よって当中間期は将来に向けた仕込み期間となりました。

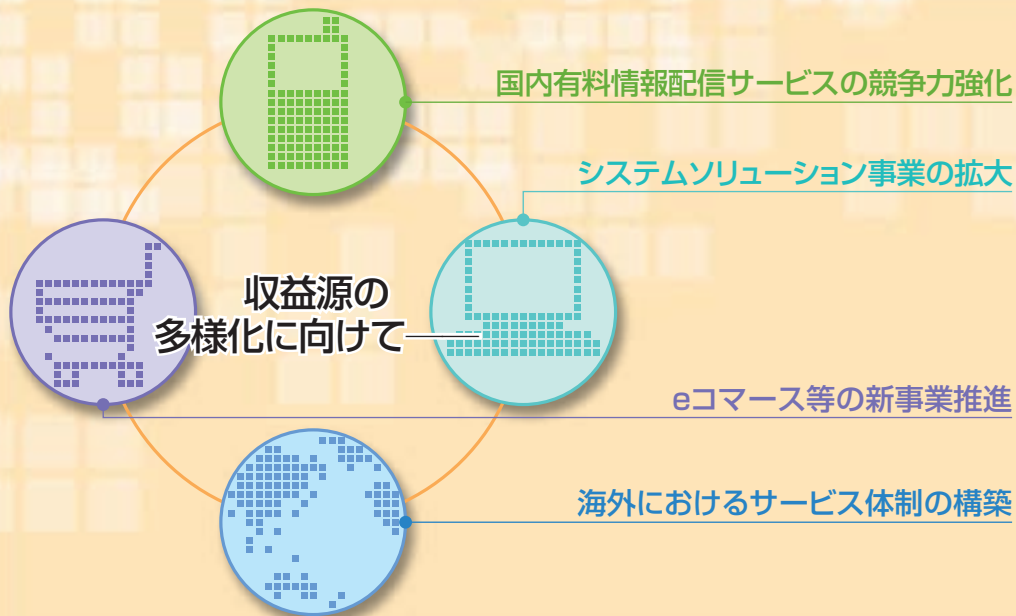
将来に向けた具体的な施策としては、まず**次世代携帯電話向けの開発強化**に取り組みました。例えば、ICカードの内蔵によって決済機能の導入が予定されるなど、携帯電話の高機能化はますます加速しています。また、今秋より各通事

業者において「第3世代」と呼ばれる携帯電話サービスの販売活動が活発化し、来年以降に急速な普及が見込まれています。こうした市場変化を見据えて、当中間期においては次世代携帯電話に対応する新サービスの開発や研究開発スタッフの増員、システム環境の増強などに取り組み、開発力の強化を図って参りました。さらに、こうした技術ノウハウを駆使して企業のeビジネスをサポートする**システムソリューション案件の拡充**にも取り組んでいます。

海外への展開や新規事業の開発を推進

また、**海外におけるサービス体制の構築**にも注力いたしました。世界をリードする日本の携帯電話向けサービスを通じて培った技術やノウハウを活用し、本格的なインターネット接続型携帯電話の普及や次世代携帯電話サービスの導入を控える海外市場に、さまざまなサービスを展開しております。現在、当社がサービスを提供している国数および取引を行う移動体通信事業者数は、日本のコンテンツプロバイダーのなかでも最も多く、こうした経験と実績は今後、海外市場を開拓し



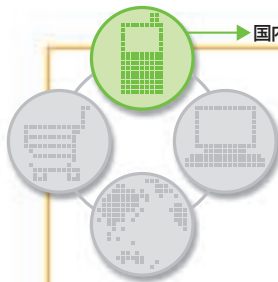


代表取締役社長
飯田桂子

ていく上でも貴重な財産になると確信しております。

さらに、今年8月にはモバイル端末を使ったeコマースを手掛ける「ギズモプラス」をITX社と合併で設立いたしました。すでに、いくつかのeコマース店舗をオープンさせたり、携帯電話上から申し込んだ商品の代金を、通話料金とともに回収する新しい仕組みを採用するなど、積極的な事業を展開しております。

これら将来に向けた取り組みを本格化し、着実に前進してきたことが当上半期における最大の成果であり、今後も継続的に取り組んでいくことで、着実に収益源の多様化を推進していきたいと考えております。株主の皆様には、引き続きご支援・ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



モバイル上での様々なサービスの競争が激化していると聞きましたが大丈夫ですか？



積極的な将来への取り組みによりリーディングポジションを維持していきます。

当社が手掛けてきた携帯電話向け有料情報配信サービスは、近年の新規参入企業の増加によって、競争が激しくなっています。また、市場環境も来年以降に本格的な普及が見込まれる次世代携帯電話が市場に登場するなど、変革期を迎えています。これにより、今後ますます動画などを中心としたリッチコンテンツサービスが主流になり、また通信料が値下がりしていくことは、当社にとって追い風になると考えます。

このような環境下で、当社は積極的な将来への取り組み



によりリーディングポジションを確立しており、またマーケットリーダーとして次世代携帯電話向けの開発にもますます積極的に取り組んでいます。こうして蓄積された総合的なノウハウは通信事業者や携帯電話メーカーからも「新しいサービスを開発する上で必要な戦力」として高く評価されており、今後も当社の市場競争力を一層高めてくれるものと確信しています。これらのアドバンテージを核に、将来に向けた積極的な取り組みを進めることで、市場競争力の強化を図っていきます。

TOPICS モバイルサイトの人気ランキング上位をキープ

主な人気サイト (iモードの例)

2003年9月末現在

- 「待受アートパラダイス」…… 待受画面/iアプリ待受/フレーム アート部門1位
- 「待受画面コレクション」…… 待受画面/iアプリ待受/フレーム グラビア部門1位
- 「コイン・コネコ・ハムスター」… 待受画面/iアプリ待受/フレーム どうぶつ部門1位
- 「待受画面メロディ」…… 着信メロディ/カラオケ オリジナルメロディ部門1位
- 「プロレス/格闘技DX」…… スポーツ 格闘技/大相撲部門1位



貴社のシステムソリューション事業って、よく分からないのですが…

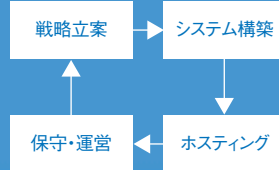
培ってきた技術ノウハウを活かして 企業のモバイル展開をサポートしています。

絶え間ない進化を続けるインターネットの世界において、高い収益性と安定性をもつ、真に価値あるシステムを構築するためには、先進的な技術力のもとより、マーケティングノウハウや顧客ビジネスに関する理解力、知見が必要とされます。

こうしたなか当社は、多彩な開発実績を通じて培ってきた豊富な技術ノウハウと、自らが運営者として蓄積してきたマーケティングノウハウを駆使して、企業のモバイルなどのインターネットを利用した事業やサービス展開をサポートするソリューションを展開しています。

具体的には、最新のフォーマット環境に対応するソフトウェアやハードウェア、ネットワークを統合したeビジネス環境を構築すると

もに、システム設計やサイト構築、保守・運用、ホスティングサービスまで幅広くカバーし、さらには当社が培ってきたモバイルに関するノウハウを活かした企画、マーケティングを実践する——こうしたハイクオリティなサービスを顧客企業にワンストップで提供するというものです。性能やコスト、安全性、納期など、さまざまな側面からメリットを提供するサービスとして、顧客からも高い評価をいただいています。今後も顧客が手掛けるeビジネスにおける最適な情報環境の創造に向けて、積極的な取り組みを行っていく方針です。



TOPICS システムソリューション事業の主要実績

主なクライアント実績

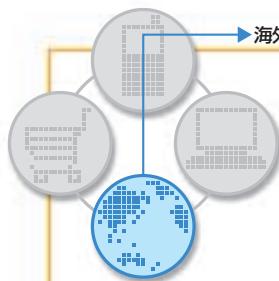
カシオ計算機株式会社

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント

ワールド・ファミリー株式会社



人気キャラクター「トロ」でお馴染みのお話しゲーム『どこでもいっしょ』の携帯電話向けホームページ。ユーザー向けのゲームや最新ニュースなど、楽しいコンテンツが満載です。当社は同サイトの企画・開発から運営までを受託しています。



海外では、日本ほど最新型の携帯電話は流行らないのではないですか?



携帯電話の高機能化は流行ではなく 必然的な進化だと考えています。

現在、海外の移動体通信事業者は、価格競争などの影響から通話料収入だけでは収益構造が成り立たない状況にあり、新しい収益源確保のための通信サービスの普及が重要な経営課題となっています。こうした背景からインフラの整備が積極的に進められており、一方で日本をはじめとする携帯電話の端末メーカーは、端末の高機能化による海外市場の販売シェア拡大を狙っています。

インフラの整備、端末の高機能化が進めば、かならずサービスの充実化が不可欠となる——こうした考えのもと、当社は海外各国でも携帯電話向けの有料情報配信サービスを立ち上げています。具体的には、2002年4月にドイツでのサービス開始

を皮切りに、2003年10月現在までに海外7カ国に事業を展開しています。また、本年8月には、アジア地域における事業拡大のため、台湾の携帯電話向けコンテンツ開発・配信ベンチャー「Chinese Mobile Value Service社」への出資を実施し、さらに欧州での事業強化のため英国ロンドンに「Gigno System Europe Limited」を設立しました。

このように当社では、海外市場の拡大に即応できるサービス体制をいち早く構築することで、事業競争力の強化を推進していく考えです。

TOPICS 海外でのサービス提供体制を拡充

当社は、2002年4月にドイツにて、海外での携帯電話サービスを初めて開始しました。以降、2002年5月にオランダで、6月には台湾で、そして11月にはフランス、ベルギーと、急速にサービス提供エリアを拡大しています。2003年に入ってから、米国、スペインでのサービス提供に着手しました。こうした基盤をベースに、現地でのサービスを希望する国内外のコンテンツホルダーへのコンサルティングやSIサービスにも取り組んでいく方針です。

2003.10

英国・ロンドンに
現地法人設立

2002.11

ベルギーにて
有料サービス開始

2002.11

フランスにて
有料サービス開始

2003.9

スペインにて
有料サービス開始

2002.4

ドイツにて
有料サービス開始

2002.5

オランダにて
有料サービス開始

2003.5

アメリカにて
有料サービス開始

2003.8

台湾CMVS社に
出資・業務提携

2002.6

台湾にて
有料サービス開始

既存事業に続く新しい収益の柱は、 順調に育っていますか？

モバイルコマース事業をはじめ、 さまざまなプロジェクトが動き始めています。

現在、当社では主力事業である携帯電話向け有料情報配信サービスや企業向けのシステムソリューションサービスに加えて、新しい事業の開発に取り組んでいます。その一環として本年8月には、ベンチャー企業の投資・育成を手掛けるITX株式会社と合併で、新会社「ギズモブリユス」を設立。「モバイルコマース事業」に本格的に着手しました。

ここ数年で、インターネットを通じて買い物を行う「eコマース」が急速に普及しましたが、モバイル端末を利用したモバイルコマー



スも、まだまだ大きな可能性を秘めた未開拓市場と言えます。新会社「ギズモブリユス」は、このモバイルコマース市場の開拓を目的に設立された会社です。

また、ギズモブリユス以外にも、他社とのアライアンスや協業体制の強化に注力しています。例えば、アジア地域の拡大のため台湾の携帯電話向けコンテンツを開発・配信するベンチャーに出資し、業務提携を実施しました。また最近では全国のコンビニ店舗と連動したサービスを立ち上げ、ローソンで携帯メールをプリントできる新しいサービス『メルぷり』を開始しました。このような新しいサービスの提案や事業開発を通じて、当社は今後もさまざまな可能性に挑戦していきたいと考えています。

TOPICS 携帯電話のメールをプリントできる「メルぷり」

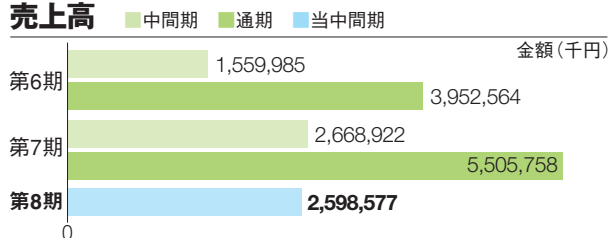
『メルぷり』

全国のローソン店舗で携帯電話のメールをプリントできる新しいサービス『メルぷり』を開始しました。「大切なメールを残しておきたい」というニーズに応え、メールの保存・プリントを可能にしたまったく新しいサービスです。当社は今後も、培ってきた技術をベースに、時代のニーズに応える新しいサービスやソリューションの開発に取り組んでいきます。

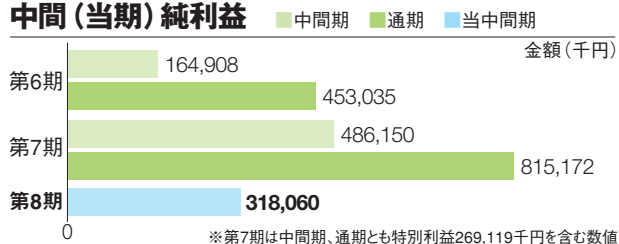


中間財務ハイライト

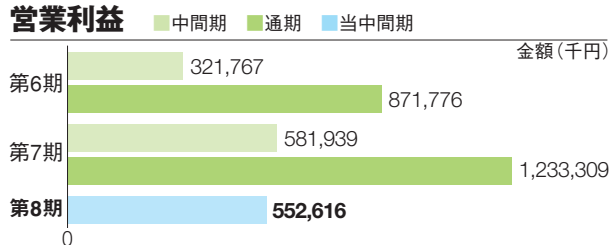
売上高



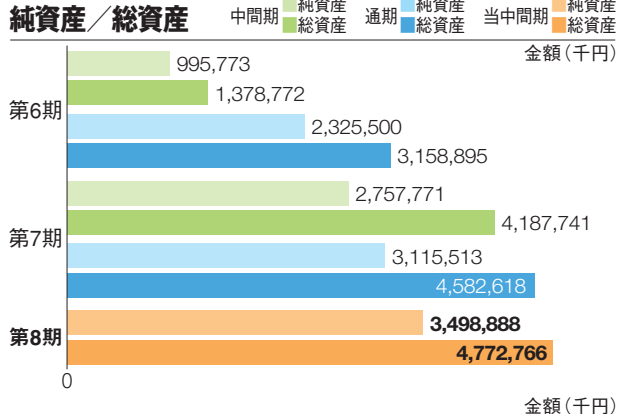
中間(当期)純利益



営業利益



純資産／総資産



項目	期別	第7中間期	第8中間期	前年同期伸長率	前期
		〔平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで〕	〔平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで〕		〔平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで〕
売上高		2,668,922	2,598,577	97.4%	5,505,758
売上総利益		1,099,537	1,049,545	95.5%	2,256,953
営業利益		581,939	552,616	95.0%	1,233,309
経常利益		582,204	552,445	94.9%	1,233,210
税引前中間(当期)純利益		841,323	551,416	65.5%	1,491,420
中間(当期)純利益		486,150	318,060	65.4%	815,172
一株当たり中間(当期)純利益		7,362.17(円)	4,765.83(円)	64.7%	11,935.52(円)
資本金		1,087,901	1,114,819	102.5%	1,092,889
発行済株式数		66,330(株)	67,129(株)	101.2%	66,501(株)
純資産		2,757,771	3,498,888	126.9%	3,115,513
総資産		4,187,741	4,772,766	114.0%	4,582,618

金額(千円)

中間貸借対照表

金額(千円)

項目	金額(千円)	
	期別 第7中間期 (平成14年9月30日現在)	第8中間期 (平成15年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	3,969,354	3,930,395
現金及び預金	2,275,032	2,393,867
売掛金	1,550,694	1,424,344
その他	182,157	131,195
貸倒引当金	△38,530	△19,012
固定資産	218,386	842,371
有形固定資産	128,706	172,223
器具及び備品	118,025	154,438
その他	10,681	17,784
無形固定資産	44,441	53,657
投資その他の資産	45,238	616,490
資産合計	4,187,741	4,772,766

金額(千円)

項目	金額(千円)	
	期別 第7中間期 (平成14年9月30日現在)	第8中間期 (平成15年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	1,429,969	1,177,487
買掛金	822,551	720,553
未払法人税等	370,973	222,835
賞与引当金	32,375	39,567
その他	204,070	194,531
固定負債	—	96,390
その他	—	96,390
負債合計	1,429,969	1,273,878
資本の部		
資本金	1,087,901	1,114,819
資本剰余金	1,015,060	1,041,978
資本準備金	715,060	741,978
その他資本剰余金	300,000	300,000
利益剰余金	654,809	1,177,140
中間(当期)未処分利益	654,809	1,177,140
その他有価証券評価差額金	—	164,949
資本合計	2,757,771	3,498,888
負債・資本合計	4,187,741	4,772,766

中間損益計算書／中間キャッシュ・フロー計算書

中間損益計算書

(単位:千円)

項目		期別	第7中間期	第8中間期
			[平成14年4月 1日から 平成14年9月30日まで]	[平成15年4月 1日から 平成15年9月30日まで]
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	2,668,922	2,598,577
		売上高	2,668,922	2,598,577
		営業費用	2,086,982	2,045,960
		売上原価	1,569,384	1,549,032
		販売費及び一般管理費	517,597	496,928
		営業利益	581,939	552,616
	営業外損益の部	営業外収益	264	136
		営業外費用	—	308
		経常利益	582,204	552,445
	特別損益の部	特別利益	269,119	989
特別損失		9,999	2,017	
税引前中間(当期)純利益		841,323	551,416	
法人税、住民税及び事業税		371,016	222,853	
法人税等調整額		△15,843	10,502	
中間(当期)純利益		486,150	318,060	
前期繰越利益		168,659	859,079	
中間(当期)未処分利益		654,809	1,177,140	

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

項目		期別	第7中間期	第8中間期
			[平成14年4月 1日から 平成14年9月30日まで]	[平成15年4月 1日から 平成15年9月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー				
営業収入			2,045,929	2,705,516
商品及びコンテンツの仕入れによる支出			△1,073,603	△1,378,536
人件費の支出			△182,505	△267,176
債権回収手数料の支出			△168,435	△256,423
その他の営業支出			△187,604	△226,872
小計			433,779	576,506
利息及び配当金の受取額			218	89
法人税等の支払額			△246,508	△392,567
営業活動によるキャッシュ・フロー			187,489	184,028
投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の預入れによる支出			—	△800,000
有形固定資産の取得による支出			△30,318	△71,060
ソフトウェアの取得による支出			△26,360	△20,000
営業権の取得による支出			△20,000	—
投資有価証券の取得による支出			—	△74,806
敷金及び保証金の差入れによる支出			△5,018	—
その他の投資活動による支出			△3,562	—
その他の投資活動による収入			—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー			△85,260	△965,867
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式の発行による収入			30,820	43,860
配当金の支払			△64,034	△99,184
財務活動によるキャッシュ・フロー			△33,213	△55,324
現金及び現金同等物に係る換算差額			31	△517
現金及び現金同等物の増加額			69,046	△837,680
現金及び現金同等物の期首残高			2,205,986	2,431,547
現金及び現金同等物の中間期末残高			2,275,032	1,593,867

株式の状況

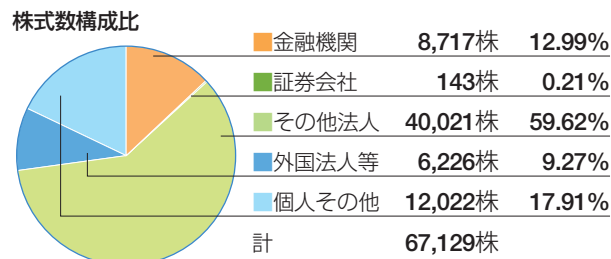
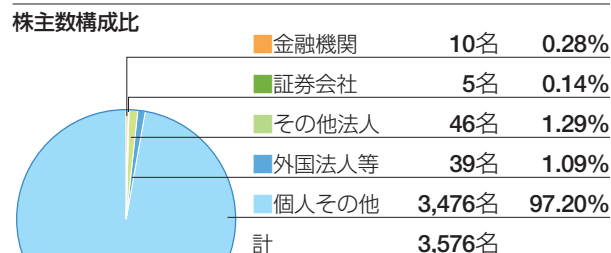
会社が発行する株式の総数	263,200 株
発行済株式の総数	67,129 株
株主数	3,576 名

大株主

株主名	持株数	議決権比率
株式会社プラザクリエイト	35,150	52.36%
日本トラスティサービス 信託銀行株式会社信託口	3,368	5.01%
ソフトバンク株式会社	2,000	2.97%
日興シテイ信託銀行株式会社投信口	1,851	2.75%
株式会社リコー	1,800	2.68%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社信託口	1,512	2.25%
ゴールドマン サックス インターナショナル	853	1.27%
UFJ信託銀行株式会社信託勘定A口	624	0.92%

(注) 議決権比率は、小数点第3位以下を切り捨てております。

株式分布状況



会社概要

社名	ジグノシステムジャパン株式会社
本社	〒102-0085 東京都千代田区六番町3番地六番町SKビル6階 TEL.03-3556-7737
設立	平成8年12月
資本金	1,114,819,886円
主要業務	インフォメーションプロバイダー事業、 システムソリューション事業
従業員数	84名(役員、臨時雇用者含む)

取締役及び監査役

代表取締役社長	飯田 桂子
取締役	阿部 泰芳
取締役	小原 淳子
取締役	吉浜 直人
取締役	大島 康広
常勤監査役	赤間 祐男
監査役	木田 正幸
監査役	小澤 宏之

株主メモ

決算期 3月31日
利益配当金支払株主確定日 3月31日
中間配当金支払株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番地11号
TEL 03-5683-5111
同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所 大阪証券取引所
公告掲載新聞 日本経済新聞

〔 当社は、決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を
当社のホームページ (<http://www.gignosystem.com/kessan>) に掲載しております。 〕

GignoSystem Japan

ジグノシステムジャパン株式会社

お知らせ

■ 商法改正により、本年4月1日から株券失効制度が実施されました

株主様がご所有の株券を紛失された場合、従来は裁判所に公示催告の申立を行い、除権判決を受けていただく必要がございましたが、今般、当社の名義書換代理人であるUFJ信託銀行に対して紛失株券を無効とするための「株券喪失登録」を申請し、1年の間異議申出が無ければ株券を再発行できることとなりました。
詳しくはUFJ信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

■ 株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-24-4479 (本店証券代行部)
0120-68-4479 (大阪支店証券代行部) 通話料無料

インターネットアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。